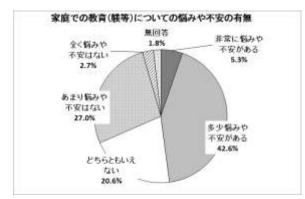


【発行】 第78号 八戸市教育委員会教育指導課 八戸市内丸一丁目1-1 Tel 43-2111(内457) Fax 47-4997 Eメールshido@city. hachinohe. aomori. jp 平成24年11月15日号

子どものために、大人が協力していく終を

右のグラフは、社団法人日本PTA全国協議会が平成24年3月に発行した「教育に関する保護者の意識調査報告書」の抜粋です。調査対象は、小学5年生保護者と中学2年生保護者です。

「あなたは、家庭での教育(躾等)について どの程度悩みや不安がありますか。(一つだけ 選ぶ)」という設問です。「多少悩みや不安が ある」が42.6%で最も高いポイントとな



っております。また、「非常に悩みや不安がある」と「多少悩みや不安がある」を合計すると47.9%となり、保護者が家庭教育に十分な自信をもっていないことが示されています。親の不安感は気づかぬうちに子どもに伝染します。不安な気持ちで育てると、子どもも不安になります。

悩みや不安がある時は、誰かに話すことが必要ではないでしょうか。肉親や友達、学校の先生、地域の方々、関係機関等に相談してください。一人で悩んだりあせったりせずに周囲の方の協力をいただいて、悩みを解消するきっかけをつかんでください。そして、子育てで大切なことは、保護者、先生、地域の大人等がお互いを理解し合い、子どものために一緒に協力していく姿を、家庭、学校、地域社会等で子どもに見せていくことです。子どもは、「周りの大人が自分に関心をもってくれている、自分を守ってくれている」という安心感をもつことで、大きな力が湧いて、がんばることができます。子どもをみんなで見守り、子どもに「安心感」をもたせる子育てをみんなで取り組んでいきましょう。

悩みがあったらお気軽に御相談ください

【八戸市内の主な少年相談機関】 八戸市・八戸市教育委員会で設置しているもの

機関名	相談日時	相談場所	相談内容
八戸市少年相談 センター Tm 43-2142	月~金曜日 10:00~17:00	教育指導課 (市庁本館 5 階)	○非行・不登校・いじめ・躾 等に関する相談
教育相談 「 うみねこ」 Tm 4 6 - 0 6 5 3	月~金曜日 8:00~17:00	総合教育センター (諏訪一丁目 2-41)	○市民の教育に関する相談 ○子どもに関する相談
家庭(児童)婦人等 相談室 1年43-2111 (内線 274・378)	月~金曜日 9:00~16:00	家庭(児童)婦人等 相談室 (市庁別館1階)	○家庭における子どもに関 する躾、子ども虐待や不登 校、問題行動等の相談

※上記相談機関は、来所相談・電話相談、どちらも可能となっております。また、相談 日は、祝日・年末年始を除いております。

笑顔に支えられ、今年もグッジョブウィーク

今年で13年目となる「さわやか 八戸 グッジョブウィーク」が、中学2年生を対象に市内のほとんどの中学校で実施され、およそ2、300名が参加しています。数日間の職場体験や福祉・ボランティア体験から、豊かな感性や創造性と共に自律性を高め、自分なりの生き方を見つけていくことを目的としています。そして、この事業は、「地域の子どもは地域で育てる」という視点が重要となりますので、学校だけで実施することなく、学校・家庭・地域社会の三者がそれぞれの役割を明確にし、準備段階からの連携が不可欠となります。毎年、地域の方々の温かい御理解・御協力ありがとうございます。

グッジョブウィークを運送会社で体験した生徒の感想文を紹介します。

『グッジョブを終えて』

八戸市立東中学校2年 髙山 優真

ぼくは、グッジョブで、ある運送会社へ活動しに行くことになりました。この職場を選んだ理由は、二つあります。

一つ目は、父が運送会社で働いているので、実際にその仕事を体験して、父の大変さや思いを知りたいと感じたからです。二つ目は、運輸業に興味があり、将来自分も運送会社に就職したいと思っているからです。

活動1日目。緊張していたぼくでしたが、支店長の高橋さんに笑顔で迎えていただき、 「失敗なんて気にしないで、思い切ってやってください。」

という言葉に緊張がほぐれました。これで一気にやる気が出て、張り切って仕事を始めることができました。

3日目からは休む暇もないくらいの活動になりました。ぼくは、ほんの少しの活動でハアハアと 息が上がってしまいましたが、実際に働いているドライバーさんは、汗をいっぱいかきながらも、 体をフルに動かし、黙々と仕事をしていました。そんな姿を見て、父もこのように働いているのだ ろうなと思うと、自分も負けてはいられないと心に火がつき、つらい時間を乗り越えることができ ました。

仕事には、運搬等の力仕事だけではなく、接客もありました。お客さんに「いらっしゃいませ!」

とあいさつをすると、ほとんどの方は不思議そうな顔をしながらも、笑顔で、

「中学生の職場体験ですか? ご苦労さん。頑張ってね。」

と言ってくれました。その一言と笑顔で、疲れていたぼくは何度も励まされました。学校では、いつもあいさつの大切さを指導されていますが、身をもって知ることができました。

グッジョブは5日間でしたが、この期間で自分のあらゆる面が成長することができたと思います。職場での一般的なマナーはもちろんのこと、目上の人への礼儀や気遣いが今まで以上にできるようになりました。また、何の知識もなく職場に来たわけですから、間違って注意されることもいっぱいありました。そんな時に、いかに素直で謙虚であることが大事かということも学ぶことができました。さらに、仕事に集中している人の姿は、何よりも輝いていると思いました。一生懸命働いているからこそ、輝くことができるのではないでしょうか。

父の仕事の大変さも、少しだけ経験することができました。父は自分のためではなく、周囲の人 や家族のために仕事をしているということを知り、父に感謝できるようになりました。

この体験を、まずは学校生活の様々な場面で生かすことでさらなる自分の成長につなげたいと思います。5日間の貴重な体験ができて、とてもうれしかったです。







[写真は、東中学校と白銀南中学校の今年度の活動のようすです]